

# NiiGATA

生涯学習にいがた

No.30  
2002.3



## にいがた男と女 フェスティバル2001

平成13年12月16日、新潟ユニゾンプラザを会場に午前中は10のグループに分かれてワークショップが、午後は開会行事と、東大教授の汐見稔幸さんとの講演等が行われました。

「PTA活動充実は男女共同参画」をテーマとしたワークショップでは、ジェンダーチェックなどの活動を通して現状と課題を明らかにし、今後の取り組み方向を探りました。

## コラム

### 大人の生きる力は……

県立生涯学習推進センター所長

渡邊 正親

子どもに「夢をもったたくましい子になれ」「生きる力をつけよ」と言っても、大人自身が夢をもち、たくましく・生きる力を示さなければ説得力がありません。

今年に入ってからの市町村の広報紙を見ると、5日制への対応が多く見られるようになってきました。「子ども学習プラン」として次のような掲載がありました。

中里村と津南町が連携して、土日に子どもたちが参加できるイベントや各種教室(学習講座)を準備しています。「地域で子どもを育てる」「大人も一緒に学ぶ」という学校5日制度の視点から出来るだけ多く村民のみなさんから参加してもらえるように、支援スタッフを募集しています。

(中里村の広報誌より引用)

この事例にあるように住民と行政が一緒になった取り組みが県内のあちこちに見られるようになってきました。子どもと大人が一緒になって活動することにより、お互いに理解し合ったり学び合ったりして地域の新しいコミュニティーが出来てくることでしょう。

行政や住民が、「出来ることを・楽しみながら」行動していくことが、生涯学習の生きがいづくりや地域づくりにつながっていきます。

大人一人一人がいきいきとした元気な大人になれるような体制を作りだすために、生涯学習推進センターは「研修と情報提供と相談」の業務を進めていきます。

# 平成13年度の生涯学習推進センター事業から

## にいがた連携公開講座

### 県内各地に「学習機会の提供」を

生涯学習に積極的に取り組む大学等高等教育機関と市町村の連携のもと、「にいがた連携公開講座」が、県内五会場で行われました。

\*岩船広域教育情報センター・十日町情報館・青海町・金井町・県立生涯学習推進センターの五会場 一会場で二講座ずつ実施 全一〇回講座 九月～二月。

この講座は、県内で大学等高等教育機関が立地していない（隣接していない）市町村に学習機会を提供し、多様化する人々の学習ニーズを支援していこうというものです。

複数大学の参加を得て、情報にかかわるテーマや子育て、現代的な課題など、各大学の特色を生かした様々な分野の講座の提供ができました。また、各講座は学習者自身の興味・関心によって選択できる受講システムをとりました。

一四年度は、大学等高等教育機関のほかに、県立歴史博物館、県立近代美術館等の講座も加わる予定です。



十日町会場を主会場とした  
第2回目の講座の様子



## 開学十周年 いきいき県民 カレッジ

「いきいき県民カレッジ」は、平成十四年八月で開学十周年を迎えます。

これまで、県民の「いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい」という要望にお応えするため、県や各市町村、大学等の協力を得て、多くの学習機会の提供に努めてまいりました。

また、受講生の学習の励みとなるよう、一定の単位修得による奨励証の交付も行ってきました。

この十年間、大勢の方々が「いきいき県民カレッジ」で学習され、奨励証を手に入れています。

## 「いきいき県民カレッジ」奨励証交付者数

(平成4年8月～平成14年2月19日現在)

| 奨励証     | 修得単位  | 交付者    |
|---------|-------|--------|
| 学長賞     | 500単位 | 74名    |
| 日本海賞    | 400単位 | 122名   |
| 越佐賞     | 300単位 | 215名   |
| 朱鷺賞     | 200単位 | 517名   |
| 雪椿賞     | 100単位 | 1,235名 |
| チューリップ賞 | 50単位  | 2,135名 |

※1時間1単位を原則に、実施機関より認定されます。

## 生涯学習職員研修会

### 研修で情報とネットワークを

○生涯学習新任職員研修会は四月から公民館などに勤務された方が対象で、研修内容は「生涯学習とは？」から始まり、基本的なことを取り上げています。参加者同士の幅広いネットワークを作ることも目的の一つです。四月に青少年研修センターを会場に行ったときには名刺が不足し手作りのものが飛び交うシーンもありました。

○生涯学習職員研修会は公民館などで行われている事業をどう改善できるかを、事例発表、講義、協議をとおして探っています。学習プログラム作成も大きな目的で今年度は「地域住民参加型の学習プログラム作成」の内容で実施しました。会場は四回のうち二回を刈羽村、荒川町で開催しました。

○生涯学習関連施設職員等研修会は公民館、小学校、大学、社会教育施設、まちづくり関係者など幅広い参加者の中で行います。研修内容は緊急あるいは先を見越した課題として、学社融合、総合的な学習と地域の関わり、生涯学習推進体制の再構築などを取り上げてきました。

○平成十四年度も多彩な内容を組みます。どうぞご参加ください。



生涯学習新任職員研修会から

# 学校週5日制に関連する情報は、ラ・ラ・ネットから

(<http://www.lalanet.gr.jp/>)

平成十四年四月から、毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制が実施されます。学校週5日制は、学校、家庭・地域の役割を明確にし、協力して、豊かな学習・体験活動を子どもたちに提供することをとおして、子どもたちが自分で考え行動できる力や周りの人を思いやる心、健やかな身体など「生きる力」をはぐくむことを目的としています。



そこで、新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」では、完全学校週5日制の目的に沿った次の情報提供をしています。

## 一「おやこのひろば」四月から開始

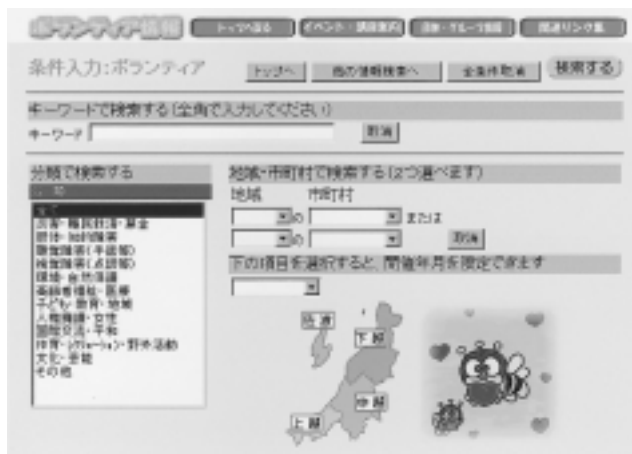
「おやこのひろば」は、親子で楽しめる内容の情報を掲載していきます。

具体的には、豊かな学習・体験活動ができる青少年教育施設・学習施設、放課後児童クラブ、児童館及び子どもセンターに関する詳細な情報を見ることがができます。

また、子育てサークルや育児・教育に関する相談窓口の情報も見ることがができます。

## 二「ボランティア情報」充実

- ① ボランティアに関する講座やイベントの案内
- ② ボランティアに関する団体・グループの情報
- ③ ボランティアに関する情報の窓口



を見ることができ、県内のボランティアに関する最新の情報を入手することができます。

## 三「指導者情報」の充実

今回、家庭教育と体験活動に  
関係する指導者の情報を充実  
しました。「ラ・ラ・ネット」では  
約八百三十名の指導者情報を見  
ることがができます。

体験活動・ボランティア活動  
の推進に、「ラ・ラ・ネット」を  
ご活用ください。

### 生涯学習関連事業等 に関する調査

県教育委員会では、平成十三年七月に、市町村生涯学習・社会教育主管課、公民館、大学等高等教育機関及び専門学校を対象に「生涯学習関連事業等に関する調査」を実施しました。

- この調査では、
- 生涯学習推進のための組織
- 住民・一般市民を対象とした様々な講座・事業

○市町村間の連携事業や市町村と高等教育機関との連携事業  
○リカレント教育  
などの現状と今後の課題などについて調べています。

平成十二年度に実施した「生涯学習に関する県民ニーズ調査」の結果と合わせて、関係機関が今後ますます連携して、県民の生涯学習推進のために取り組んでいくことの重要性が明らかになっていきます。

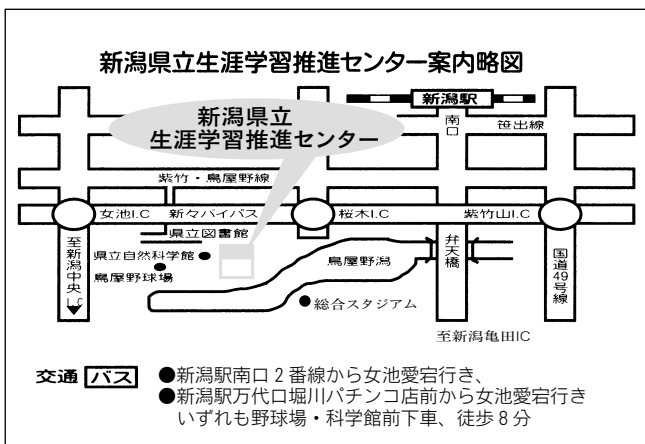
調査結果については、関係機関に報告書が配布されますので、ご覧ください。

# 地域・家庭での子育てに役立つ映像教材

《《《 地域や学校、PTA、家庭教育学級等での話し合いにご利用ください 》》》》

| タイトル                                   | 規格                  | 作品の概要   |
|--|---------------------|---|
| 頑張れ！お父さん<br>～パパたちの子育て奮闘記～              | ビデオ 16分             | スキージャンプ選手の原田雅彦さんなどの子育て体験を話し合い、育児に悩む父親や母親に子育てのヒントを紹介する。          |
| 子どもとしつけ<br>～KONISHIKI&ティディー～           | 16ミリ 12分            | KONISHIKIとティディーが子どものしつけについて話し合い、生きる力と豊かな人間性を伸ばすしつけのあり方について紹介する。 |
| 子育ての極意 ゆっくり、ゆったり<br>～7人の専門家に聞きました～     | ビデオ 17分             | 数学者の秋山仁さんや精神科医の香山リカさんなどの専門家が、順位にとらわれず個々のよさに目を向けていく重要性を説く。       |
| 地域社会と子ども（5回シリーズ）<br>〈すこやか1・2の3ちゃん〉     | ビデオ各15分             | 地域での子どもの見方、育て方について、新潟県の事例を通して考える「すこやか1・2の3ちゃん」のシリーズ作品。          |
| 地域の育て<br>〈すこやか家庭百科〉第5話                 | ビデオ 15分             | 親の地域に対する閉鎖的な子育てのあり方に影響を受けて、いじめや不登校問題を起こす中学生の姿をアニメで描く。           |
| 親がかわれば子もかわる                            | ビデオ 26分             | 親が安心して「いい子」が突然キレルという状況で、父親が変わろうとする姿を通して子育てのあり方を考える。             |
| 親父が街に帰ってきた                             | ビデオ 31分             | 仕事人間だった父親が、自分の子どもについて何も知らなかったことに気づき、家庭や地域での役割に目覚めていく姿を描く。       |
| 出会いとふれあいの広場<br>～神戸市の学校施設開放～            | ビデオ 30分             | 神戸市内の学校施設を開放し、学校を地域コミュニティの核として人々が交流を図っている様子を紹介する。               |
| Let's 生涯学習<br>～子どもと話そう～                | ビデオ 22分             | 子どもともっと真剣に接するためにはどうしたらいいのか、永島敏行、立川志の輔両氏の生涯学習への取り組みを例に紹介する。      |
| 鹿沼発、ある教育改革の試み<br>～学社融合～                | ビデオ 24分             | 栃木県鹿沼市における小学校と社会教育との融合、中学校とコミュニティカレッジとの融合を例に学社融合のあり方を探る。        |
| 心かよいあうボランティア活動<br>～子どもたちと共につくる学び～      | 16ミリ 20分            | 学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てていこうという取り組みを、学校支援ボランティア等の活動を例に紹介する。        |
| とび出そう まちの中へ 自然の中へ<br>～夢を持った子どもを育てるために～ | ビデオ 20分             | 学校、家庭、地域での子どもの「生きる力」を育む活動の様子を、商業体験、自然体験、子どもセンター等を例に紹介する。        |
| 私たちの体験学習                               | ビデオ 25分             | 中学生がクラブ活動にボランティアを取り入れ、人のために働くことの重要性を体験を通して学ぶ姿を紹介する。             |
| 職場とあしたの家庭<br>～父親の家庭参画～                 | ビデオ 20分<br>16ミリ 20分 | 若い社員の子育てを批判する課長が、家で中学生の息子とトラブルを起こし、父親の家庭参画の大切さに気づいていく姿を描く。      |
| 子どもの本音きこえていますか                         | ビデオ 28分             | 子ども電話相談室に寄せられた相談事例から、テレクラに誘われそうになる子や不登校の子の本音を描き、原因と解決法を探る。      |
| まじめで悪いか！                               | ビデオ 32分             | 長岡市の中学生の作文をもとに映画化された作品。自分のまじめな性格を押し隠して生活する子の心の葛藤と成長を描く。         |
| へんてこなボランティア                            | ビデオ 46分<br>16ミリ 46分 | 中学生から文字を習って家族に手紙を書くことができるようになった老人と、いじめから逃げていた中学生との交流を描いたアニメ。    |
| よしっ！僕がやる                               | ビデオ 38分<br>16ミリ 38分 | 老人性痴呆の祖父との交流を通して、人を思いやることや積極的に働きかけていくことの大切さに気づいていく中学生の姿を描く。     |

● 映像に関するお問い合わせと貸出予約は TEL 025-284-5525 (県生涯学習推進センター視聴覚担当)



## 平成14年4月1日から、すこやかコールが変わります

| 家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」 |  |
|-----------------------|--|
| 電話相談                  | 月曜日～金曜日 午後1時～午後9時                        |
| 025 イイコラ<br>283-1150  | 相談員が直接電話で応じます。<br>この時間以外は、FAXで対応します。     |
| FAX相談                 | 月曜日～金曜日 午後9時～翌日午後1時                      |
| 025<br>284-6019       | この時間は、FAXでの相談を受け付けます。<br>相談員が後日FAXで応えます。 |

※プライバシーは堅く守られます。お気軽におかけください。  
(土曜・日曜・祝日・8/13～15・12/29～1/3・3/28～31は休み)